ERINA TANAKA
POLICY BOOK
2026

市　政を動かす。
ま　ちを動かす。
暮らしを変える。

田中エリナ 政策集 2026

あなたとつくる、世界に誇れる松山へ

「今すぐ」の家計応援と、「ずっと」続く松山の好循環へ

市　政　を動かす。
ま　ち　を動かす。
暮らし　を変える。

今こそ、新しい松山へ

あなたとつくる、世界に誇れる松山

生まれ育った松山を、元気にしたい。

その一心で、民間で、そして市議会議員として、働いてまいりました。多くの市民の皆さまの声を聞き、市政の現実と向き合ってきたからこそ、今、強く感じています。

松山は、もっと前へ進める。

これまで築いてきたものを大切にしながら次の時代に必要な変化を起こす。私は、心から松山の可能性を信じています。豊かな自然、歴史や文化、食、温泉、そして人のあたたかさ。松山には、国内外から選ばれる魅力と可能性にあふれています。けれど今の松山のままでは、当たり前の暮らしを次世代に引き継げないかもしれない危機に直面しています。

停滞を、前進へ。
あきらめを、希望へ。

若い人たちが戻り、子どもたちが未来に希望を持てる。魅力的な仕事があり、年を重ねても安心して暮らし続けられる。そして誰もが「松山で暮らしたい」と思えるまちへ。世界に誇れる、新しい松山市へ。

新しい松山の1ページは、
あなたと、ここからはじまります。

田中エリナ



田中エリナ｜プロフィール

生まれ育った松山の商店街から、企業経営、そして市政の現場へ。

1984年　松山市生まれ

番町小学校・松山東中学校・松山東高校を経て、津田塾大学へ。

祖父が、昭和30年に銀天街で「味加久」食堂創業。

両親が、1982年に雑貨店「A-ONE」を開業。幼少期はお店のお手伝いも。

1 民間で培った経営・広報の視点

リクルート勤務後、2012年にマーケティング会社を起業。

2 地域からまちを元気に

2016年に愛媛プロレスを旗揚げ。

2022年に松山市議会議員に初当選。2026年には10,676票で再当選。

松山で育ち、社会を知り、市政へ。

民間での経験と、故郷・松山への想いを市政へ。

1984 松山市に生まれる

銀天街で育ち、地域行事に参加。番町小学校・松山東中学校を卒業。

2003 松山東高校卒業・大学進学

津田塾大学で学び、海外にも関心を広げる。

2007 リクルートに入社

民間の営業・マーケティングを経験。

2012 マーケティング会社を起業

地域の発信・事業づくりに取り組む。

2016 愛媛プロレス旗揚げ

地域発のエンタメ・PRを展開。

2022 松山市議会議員に初当選

8,836票を集める。市民の声を議会へ届ける。2026年に再当選。

市民の声を議会へ。これまでの取り組み

松山市議会や地域で積み重ねた活動から、松山の課題に向き合う。

1 全会議に登壇

一度も休まず現場の声を議会へ届け続ける。

2 ふるさと納税の拡大を提言

松山の魅力を財源づくりへつなげる取り組みを推進（4年で寄付額は4倍の24.6億円に）。

3 城山災害の再検証を要求

情報公開と再発防止、住民説明の必要性を提起。

4 シェアサイクル導入を後押し

交通と観光を便利にする移動手段を支援。

5 民間人材の行政登用を提言

専門知を取り入れる市政改革を推進。

6 広報・情報発信の改善を提案

市民が主役となる市政広報を提言。

対話を大切に、みんなでつくる松山の未来

政治をもっと身近に。まちが舞台、あなたが主役！

1 まちなかクリーンアクション
40回以上続く、まちなかの清掃活動。

2 まちづくりミーティング
あなたの困りごとを、これからの政策へ。

3 地域イベント企画開催や参加
松山を盛り上げる地域イベント企画＆参加。

4 ミニ対話集会
市政にご意見や提言のある皆さまとの対話。

5 講演活動
専門性を活かした伝える力。

6 松山チェンジ！対談ライブ
松山を前へ。様々な知見や情報をライブで。

7 SNSの発信
顔の見える政治をお届け。

8 若者のやりたい！を全力後押し
若者の挑戦を全力でサポート。

対話で寄せられた、暮らしの声

市民との対話で受け取った、日々の暮らしへの課題意識。

1 物価高騰への不安

2 バス代・電車代の高さ

3 銀天街・大街道の寂しさ

4 JR松山駅周辺の整備の遅れ

5 若者流出への不安

松山の「いま」を知る。数字が示す6つの課題

人口・地域経済・財政。前例踏襲では守れない現実を直視する。

1 人口減少

42.2 万人

2025年の推計人口
50万人割からさらに減少

2 若者流出

694 人

2025年の20代の転出超過
2021年は488人

3 所得の低迷

265.2 万円

令和5年の市民所得
所得の伸びが課題

4 企業の伸び悩み

89.8 %

令和5年の20年間の
法人市民税伸び率

5 産業構造の偏り

85.2 %

第3次産業の事業所比率
稼げる地域経済への転換

6 財政の黄色信号

▲33.3 億円

実質単年度収支
扶助費10年間で36.5%増

これから松山に迫る「大型事業と更新の波」

いまの暮らしを守りながら、次世代への負担を抑える都市経営が必要。

1 JR松山駅前の再整備・バスタ計画

2 市民会館の再整備

3 市役所本庁舎の建て替え・新庁舎整備

4 南クリーンセンター（清掃工場）の更新

5 公共施設・学校・インフラの長寿命化

財政の現在地

▲33.3 億円

実質単年度収支

必要なのは

「経営視点の行革」

×

「官民共創」

事業コストを見直し
投資財源を創出

松山を豊かにする「好循環」

一度きりの支援で終わらせない。次世代にツケを残さない。官民共創で動かす。

STEP 1

行財政改革・財源創出

全事業を100日以内に点検。

民間活力・AI・DXを活用し、投資財源を創出。

STEP 2

暮らし・現場への集中投資

家計・教育・医療・福祉へ、重点的に投資。

STEP 3

都市の成長・市民への還元

民間投資で仕事と所得を増やし、税収を市民サービスへ還元。

市役所が変わる → 暮らしが助かる → まちが稼ぐ → 市民へ還る

目指すのは、結果の見える市政。

2030年に向けた6つの数値目標（KPI）

人口減少スピード

半減

減少ペースの抑制

転出入

+1,000 人/年

転出超過から転入超過へ

市民所得

+10 %以上

仕事と産業を増やす

観光消費額

1,000 億円

観光の経済効果を拡大

ふるさと納税受入額

50 億円

将来的には100億円を目指す

民間投資

500 億円

4年間で呼び込みを目指す

松山を動かす「３つの約束」

ビジョンを打ち出し、市政を動かし、まちを動かし、暮らしを変える。

1 行革で財源を生み出す！【市政を動かす】

就任100日以内の全事業総点検 / 予算1%見直しで年約20億円を捻出
ふるさと納税50億円へ / ネーミングライツ拡大・民間活用（PFI / PPP）活用
定例会見ノーカット配信 / AI・DXで「書かない・待たない・行かなくていい」市役所

2 まちづくりを前へ進め、松山で稼ぐ！【まちを動かす】

JR松山駅前を「滞在型文化想像拠点」へ再設計・加速（図書館×市民会館）
銀天街・大街道「４年間で空き店舗ゼロ」/ 堀之内の規制緩和
地元発注を拡大 / 民間投資500億円・観光消費1,000億円で所得10%UP

3 命と子育てを守り、暮らしの安心を増やす！【暮らしを変える】

城山土砂災害の第三者検証・早期説明会 / 全41地区点検と地区別カルテ
0-2歳児・病児保育無償化 / フリースクール・奨学金返還支援
シルバーパス・AIデマンド交通・離島航路支援 / 救急医療支援

新しい政策体系「３つの約束×６つの重点政策」

市政改革を土台に、経済・教育・まち・交通・安心の政策をつなぐ。

1 市政改革

行財政・情報公開・行政DX

2 地域経済

地元企業・仕事・市民所得

3 子育て・教育

無償化・学び・若者支援

4 まちづくり

駅前・商店街・観光・文化

5 地域交通

シルバーパス・AI交通・島

6 安心・福祉

防災・医療・介護・環境

市政を変え、未来への投資を生み出す

税金の使い方を見直し、暮らしに成果が届く「経営視点の市役所」へ

1 100日以内の全事業総点検

外部有識者を交え、成果重視で事業を検証。未来への投資財源を生み出す。

2 KPIと工程表を見える化

事業の成果・コスト・進捗を公開。前例踏襲から成果重視の市政へ。

3 会見をノーカット生配信

市長の公務日程も原則公開。対話と市民の声を政策に反映。

4 AIと「行かなくていい」窓口

書かない、待たない手続きへ。施設予約・決済もスマホで完結。

5 専門人材と挑戦する組織

専門職キャリアパスや民間人材を導入。若手・女性の登用も進める。

6 官民共創と規制の見直し

公園・公共空間の利用を柔軟に。県・近隣市町とも実利ある連携。

地元企業を育て、仕事と所得を増やす

地元で稼ぎ、働く人の所得へ還元する地域経済の好循環をつくる

1 地元発注を大幅に拡大

市の公共調達を地元企業へ。中小企業のDX・販路開拓も伴走支援

2 民間投資500億円を呼び込む

４年間で成長産業を誘致。地域を牽引する企業を育てる。

3 市民所得10%向上を目指す

企業の成長を雇用と賃金へ。「人口が減っても稼げるまち」に。

4 女性の経済参画と起業

男女賃金格差の是正を促進。学び直し・女性の起業も支援。

5 「儲かる農林水産業」へ

地場産品の高付加価値化と販路拡大。学校給食の地産地消も推進。

6 ふるさと納税50億円へ

４年で受入額50億円を目指す。命名権など税外収入も拡大。

子どもが育ち、若者に選ばれる松山へ

家庭だけで抱え込ませない子育てと、一人ひとりに合う学び・挑戦を支える

1 0-2歳保育料を完全無償化

４年間で段階的に無償化し、子育て家庭の毎月の負担を軽減。

2 病児・病後児保育を無償化

就任２年以内に利用料を無償化。受入定員も合わせて拡充。

3 産後ケア・応援チケット

産後ケアの助成・施設を拡充。シッターや一時預かりにも活用。

4 児童相談所と見守り体制

2029年度開設に向け準備を加速。ヤングケアラーへの支援も強化。

5 多様な学びと少人数教育

フリースクールの利用料助成。教員・支援員を手厚く配置。

6 奨学金支援と若者の居場所

市内就職者の返還支援を１年以内に具体化。無料の交流・自習スペースを整備。

豊かに生活できるまちづくりを

まちなかの賑わいと、41地区それぞれの暮らしやすさを両立させる

1 JR松山駅前を再設計・加速

バスタ計画を見直して早期具体化。憩いと交流が生まれる駅前広場へ。

2 商店街「空き店舗ゼロ」へ

銀天街・大街道で４年間の達成を目指す。新規出店と建物の再生を後押し。

3 歩きたくなる緑のまちなか

木陰・ベンチ・暑熱対策を充実。誰もが快適に過ごせる公共空間へ。

4 観光消費1,000億円規模へ

道後・松山城・瀬戸内・食文化を活用。長期滞在・高付加価値化を促進。

5 「市民のリビング」図書館

飲食・対話・自習ができる憩いの場へ。市民会館の再整備も加速。

6 スポーツ・部活動を支える

「松山版・指導者バンク」を創設。体育施設の空調・トイレも改善。

どこに住んでも、安心して移動できる松山へ

免許返納後も、郊外・島しょ部でも、通院・買い物・通学が続けられる交通網へ

1 全41地区で交通を話し合う

住民・交通事業者・行政が協議。地域に合った運行ルートを再構築。

2 バス・市内電車の維持を支援

実態調査から運行計画を策定。減便時の代替手段も明確化。

3 AIデマンド交通を導入

郊外・中山間部に予約型の乗合交通。通院・買い物の移動を確保。

4 高齢者「シルバーパス」

免許返納後のバス・電車を運賃助成。通学路の安全対策も強化。

5 島しょ部の航路を守る

定期船の維持・運賃軽減を支援。港湾と交通インフラの防災点検。

6 バリアフリーと交通DX

低床車両・運行情報の可視化を推進。シェアサイクルで移動を補完。

誰もが安心して、自分らしく暮らせる松山へ

命を守る防災と医療、尊厳を守る福祉、地域の暮らしを包括的に支える

1 城山災害を検証・防災を強化

独立第三者委員会を設置。41地区の危機箇所と避難所を総点検。

2 救急医療と健康寿命を守る

ICTで救急搬送の受入を円滑に。小児・産科医療と健康ポイントを充実。

3 介護・障がい者福祉を充実

家族の介護負担を軽減。就労支援とユニバーサルデザイン。

4 41地区ごとの暮らしに対応

地区別重点政策カルテを作成。島しょ部・中山間部の生活基盤を維持。

5 孤立を防ぎ、多文化で共生

申請漏れを防ぐプッシュ型支援。適正賃金・生活ルールも重視。

6 環境・水源と動物の命を守る

太陽光・資源循環・水源の森を保全。犬猫の殺処分ゼロと同行避難へ。

「今すぐ」と「ずっと」の家計応援プロジェクト

毎日の「水・油・足」の負担を減らす。暮らしの安心から好循環を始める。

柱１｜今すぐ！

水・油

毎日の支払を直撃値下げ

水道基本料金の半年間0円
ガソリン代の直接割引

臨時交付金で即効支援

柱２｜ずっと！

足・育

毎月の固定費を下げる

シルバーパス
AIデマンド交通
0-2歳児・病児保育無償化

恒久財源で継続支援

柱３｜健康がお得！

得・健

地域への参加をポイントに

歩く・検診・ゴミ拾い
まちのお店で使える地域ポイント

健康と地域経済の好循環

「一度きり」の支援から、「毎日の暮らし」を支える仕組みへ。

「水」と「油」の直撃値下げ

申請や配布の事務経費を抑え、生活に必要な支出を直接軽減

水｜毎日の生活に欠かせない水道

水道基本料金

６ヶ月間０円

約25万世帯＋事業所 / 約15億円

１世帯あたり約5,600円の負担軽減

原則申請不要

入居者へも還元

油｜通勤・通院・買い物・送迎を支える

市内スタンドで

ガソリン代割引

総額約５億円規模

市民の移動コストを直接軽減

既存の決算アプリ等を活用

毎月の負担を軽減！健康と地域貢献も応援！

「足」「育」「得」「健」を組み合わせ、暮らしを支える恒久的な施策へ

足｜移動の安心

シルバーパス導入×AIデマンド交通支援

初年度1-2億円 → 着地3-5億円

70歳以上の運賃半額（従量補填型）
郊外・交通不便地域に乗り合い交通
島しょ部の航路運賃負担も軽減

育｜子育ての安心

0-2歳保育料・病児・病後児保育の無償化

約10-12億円

0-2歳児保育料は４年間で段階的に
病児・病後児保育は就任２年以内に
毎月の大きな固定費を削減

得・健｜健康×地域貢献

健康になる＋まちがきれい＋地元が潤う

松山版・健康＆地域貢献ポイント創設

歩く・健診・ゴミ拾いでポイント → 商店街で使える → スマホなしも対応

無計画ではなく「経営」でつくる財源

一時的な交付金と恒久的な自主財源を混同しない、３つの財源ロジック

1｜緊急対策

臨時交付金で「今すぐ」負担を軽減

約20億円

水道基本料0円＋ガソリン割引
約15億円＋約5億円

国の臨時交付金を活用
申請・配布などの事務コストを抑制

2｜恒久対策

歳出改革×歳入創出で毎年の支援を継続

初年度15-20億円

保育・交通・地域ポイントの支援拡大に合わせて20億円規模へ

就任100日以内に全事業総点検
ふるさと納税拡大・ネーミングライツなどでコスト適正化

3｜将来負担の抑制

予防投資で健康と財政を守る

健康寿命を伸ばす

移動・運動・地域参加で将来負担を抑制

フレイル・生活習慣病の予防
医療・介護費の伸びを抑制

財政運営の原則　一時的な交付金は恒久事業に使わない。工程表・KPIも公開